



保険適用 料金表

2022年4月1日より適用

▼初診料・再診料

初診料：860円（初診時のみ）

再診料：390円（2回目受診以降、受診ごと）

▼一般不妊治療（タイミング療法・人工授精）

一般不妊治療管理料：750円（3ヶ月に1回）

排卵誘発剤（内服）：660円～1,030円

人工授精：5,460円

超音波検査（1周期に3回程度）1,430円～1,590円

ホルモン検査：約2,400円

卵管造影検査：6,790円～12,120円

子宮鏡検査：2,710円

卵胞計測（尿・頸管粘液検査）：560円～660円

▼生殖補助医療（体外受精・顕微授精・胚移植）

生殖補助医療管理料Ⅰ 900円（体外受精周期ごと）

排卵誘発剤（内服薬/注射薬）約10,000～30,000円

超音波検査（1周期に3回程度）1,430円～1,590円

ホルモン検査 約4,000円

抗ミュラー管ホルモン検査：1,800円

採卵 基本料+個数に応じて加算

基本料：9,600円（採卵数が0個でも発生）

1個：9,600円+7,200円=16,800円

2個～5個：9,600円+10,800円=20,400円

6個～9個：9,600円+16,500円=26,100円

10個～：9,600円+21,600円=31,200円

培養

受精～初期胚まで

1個：13,500円

2個～5個：18,000円

6個～9個：25,200円

10個～：31,500円

胚盤胞まで培養した場合、上記に

1個：+4,500円

2個～5個：+6,000円

6個～9個：+7,500円

10個～：+9,000円

が加算されます。（胚盤胞の作成を目的に培養した数）

体外受精・顕微授精

体外受精：12,600円（個数に関わらず）

顕微授精：個数で金額が異なります

1個：14,400円

2個～5個：20,400円

6個～9個：30,000円

10個～：38,400円

※受精に際し TESE 精子を使用の場合 15,000円加算されます。

※受精に際し 卵子の活性化処理を行った場合 3,000円加算されます。

※体外受精と顕微授精を併用した場合、体外受精料の半額+個数に応じた顕微授精料の合計額となります。

受精卵凍結

受精卵凍結保存料

1個：15,000円

2個～5個：21,000円

6個～9個：30,600円

10個～：39,000円

受精卵凍結保存管理料

10,500円（個数に関わらず）

※凍結日より1年後以降に年に1回発生、凍結日より3年が限度となります。

胚移植・凍結胚移植

新鮮胚移植：22,500円

凍結胚移植：36,000円

※移植時にアシステッドハッチングを行った場合 3,000円加算されます。

※移植時に高濃度ヒアルロン酸含有培養液を使用して前処置を行った場合 3,000円加算されます。